

平成 21 年度
都市景観大賞「美しいまちなみ賞」

受賞地区の概要

平成 21 年 5 月
「都市景観の日実行委員会」

受賞地区一覧

「美しいまちなみ大賞」

| 地区名 | 地区面積 | 応募者 |
|--|------------|--|
| とちぎし れきしてきまちなみけいせいせいちく 栃木市 歴史的町並み景観形成地区 (栃木県栃木市) | 47.7 ha | ・ 栃木市商店会連合会 ・ うずま川遊会 ^{せんゆうかい} ・ 栃木の例幣使街道を考える会 ^{れいへいしかいどう} ・ 栃木市 |
| まにわし かつやままちなみほぞんちく 真庭市 勝山町並み保存地区 (岡山県真庭市) | 61ha | ・ 真庭市 ・ 町並み保存事業を応援する会 |

「美しいまちなみ優秀賞」

| 地区名 | 地区面積 | 応募者 |
|--|------------|---|
| うらやすし ひので あけみ たかすちく 浦安市 日の出・明海・高洲地区 (千葉県浦安市) | 367 ha | ・ 浦安市 ・ 千葉県企業庁 ・ 独立行政法人都市再生機構千葉地域支社 |
| なかつがわし なかせんどうまごめちく 中津川市 中山道馬籠地区 (岐阜県中津川市) | 397 ha | ・ 馬籠地域づくり推進協議会 ・ 中津川市 |
| おおのし てらまちどおりちく 大野市 寺町通り地区 (福井県大野市) | 3.1 ha | ・ 大野市 ・ 寺町通り地区まちづくり協定運営委員会 |
| きしわだし ほんまちちく 岸和田市 本町地区 (大阪府岸和田市) | 4.9 ha | ・ 本町のまちづくりを考える会 ・ 岸和田市 |
| とんだばやしし とんだばやしないまちちく 富田林市 富田林寺内町地区 (大阪府富田林市) | 13.3 ha | ・ 富田林寺内町をまもり・そだてる会 ・ 富田林市 |
| いずみし いずみふもとちく 出水市 出水麓地区 (鹿児島県出水市) | 43.8 ha | ・ 出水麓街なみ保存会 ・ 出水市 |

「美しいまちなみ特別賞」

| 地区名 | 地区面積 | 応募者 |
|--------------------------------------|------------|--|
| とやまし そうがわちく 富山市 総曲輪地区 (富山県富山市) | 1.8 ha | ・ 富山市 ・ 総曲輪シティ株式会社 ・ 西町・総曲輪再開発ビル管理組合 |
| はままつし ひがしちく 浜松市 東地区 (静岡県浜松市) | 53.1 ha | ・ 浜松市 ・ 東地区街づくり会議 |

審査講評

■栃木市 歴史的町並み景観形成地区

江戸から明治にかけて建てられた蔵や大正時代の洋館が数多く残されているだけでなく、市民によって構成されている街づくり組織、イベント主催団体が多数存在し、それぞれが活発な活動をしている。市民が自らの街に愛着と誇りを強く感じていることが伺われる。また行政は旧日光例幣使街道沿いの地区を中心に街なみ環境促進地区を指定し、緑地や堀の整備、街なみ修景事業に取り組んでいる。このように市民と行政が一体となってまちづくりに取り組んでいることが高く評価できる。また北関東に残る蔵の町の保存再生例として川越とともに高く評価でき、順調な成熟も好ましい。

■真庭市 勝山町並み保存地区

整備された街なみについて、観光客が楽しむだけでなく、住民が自らの生活を楽しむという高い見識と洗練された美学をもってまちづくりに取り組まれており、伝統的建造物群保存地区によく見られる「生活者より観光客」、「ソフトよりハード」といった印象がなく、歴史的な町並みに住民の生活が馴染んでいる様子が強く伺える。歴史と現代が融合している町として魅力的であり、生活感のある街づくりとして評価できる。小さな所まで、一つ一つより良い形で積み重ねられ、結果的に街全体が出来上がってきた良さを感じさせ、非常に品の良い街並み保存整備というイメージでとらえられる。また、この町の大きな魅力の一つとして暖簾があり、町と人をつなぐ大切な要素となっている。住民活動が礎になっていることも魅力の一つとして挙げられる。

■浦安市 日の出・明海・高洲地区

平坦で茫漠たる埋立地の魅力を高めるための様々な工夫がなされている。壁面後退を推進し、ゆとりと視覚的広がり確保するとともに、グリーンネットという連続的で豊かな緑化空間を確保している。また様々なタイプの辻空間を配置することによって地区ごとにそれぞれの顔づくりが感じられる。またリゾート都市というコンセプトも地区の立地性を活かしてユニークな景観を創出している。このように各地区（ブロック）ごとには魅力的な景観が形成されているが、対象エリアが広大であること、時代の変化に対応しながら長期間に渡り開発が進められていること等から、エリア全体としての統一感にやや欠ける点は否めない。人口の定着とともに、住民のまちづくりへの参加が徐々に増えつつある現状にあり、今後の住民活動による街の成熟化に期待したい。

■中津川市 中山道馬籠地区

中山道の宿場町の面影を色濃く残す地区として既に高い評価が得られ、広域観光拠点の一つとして脚光を浴びて来たところであり、観光客をもてなす心でまちづくりに熱心に取り組まれて来たことは評価できるが、今となってはやや整備が過剰過ぎみのように感じられる。すなわち昔のリアリティが綺麗になり過ぎて、かつての素朴な景観の迫力、凄味が失われているように見えるのが残念である。今後は観光商業化しないように注意しつつ、美しい町並みを保持されるとともに、観光以外の街づくりにも活かされることを期待したい。

■大野市 寺町通り地区

住民と行政が一体となって多数の修景整備がなされ成果を上げている。伝統ある景観をきっちりと保全し、現代に生かす決意が感じられて好感が持てる。石畳と水路、築地塀・板塀や生垣、それに大きな樹木（見越しの松など）が上手く調和しており、落ち着いた風格のある景観を形成している。より一層のレベルアップに向けて、今後は外観の整備とともに、人々の生活空間のライフスタイル創成の工夫も重ねられることを期待したい。

■岸和田市 本町地区

本瓦葺、つし2階、出格子、虫籠窓で構成される歴史的まちなみが良く維持されている。城を中心とした街区の修景例としては秀逸である。これも市民と行政が一体となって数多くの修景整備に熱心に取り組まれた結果であると高く評価できる。また住民団体の手作業による板塀整備プロジェクトや手作り案内板の設置など様々な活動が行われており、住民の郷土愛意識の高さが伺える。

■富田林市 富田林寺内町地区

江戸中期以降の優れた建築の集積として伝統的建造物群保存地区に指定されており、市民活動、市当局による旧家の買い取りと家族史の記録、町並みに調和した休憩施設整備などは都市景観的に見て高いレベルに達している。興正寺を中心とした「当て曲げ」の町割りや土塁跡の坂や石垣など、戦国時代の宗教都市の面影が僅かながら残る貴重な都市である。ただし当地区の取り組みは、あくまでも文化的な保存が中心であり、本都市景観大賞の主旨の一つである「まちの活性化」への寄与度からはあまり評価できない点が指摘される。

■出水市 出水麓地区

街区構成や屋敷地割りなど往時の姿をよくとどめている。武家屋敷では歴史的風致を維持しており、石垣と生垣で構成される連続した沿道景観は素晴らしく、清楚で風格のある雰囲気を作りだしている。当地区の取り組みは、伝統的建造物群の保存が中心であり、それによって歴史的風致が維持されていることは高く評価できることであるが、本都市景観大賞の主旨の一つである「まちの活性化」に向けての活動面がやや弱い点が指摘される。平成 21 年度から、まちの活性化に向けて住民主体の手作りによるミニイベントを毎月開催する方向で検討されつつあるようだが、今後の市民の積極的な活動に期待したい。

■富山市 総曲輪地区

再開発事業において、数本の路地を統合して公有地と私有地を合わせて大きな広場を創出されたことの意味は大きく、この空間の明るさ、さわやかさが周辺のまちに及んでいる。また広場は雪国にあわせて全天候型であり、天候、季節に関係なく様々なイベント活動が行われている。日常的にも子供達や高齢者等の溜まりの場となっており、まちの賑わい創出拠点として大きな効果を発揮している。こうした中で、広場に面する商業施設のファサードがやや閉鎖的で、商業活動が広場側に溢れ出るといった雰囲気にやや乏しいのが残念であり、今後相互の関係が一層強まって店構え及び店前の利用がもっと魅力的になることを期待したい。このように広場の地先利用形態などにやや弱点はあるものの、わが国における都市広場の本格的な復権として高く評価できる。

■浜松市 東地区

当地区は、広いエリアでありながら、密度の濃い取り組みがなされている。整備されたものはやや装飾性を強く感ずるが、質的には良く出来ている。区画整理事業が完了して間もないこともあろうが、街としての密度やアクティビティに欠け、全体的にやや大味な印象は拭えない。植栽等の緑も今後の成長が待たれる。まちの成熟には住民を主体としたゆまぬ努力と時間が必要であり、今後の住民活動による街の成熟化に期待したい。

1. 美しいまちなみ大賞

栃木市 歴史的町並み景観形成地区

■所在地：栃木県栃木市

■地区面積：47.7ha

■応募者：栃木市商店会連合会、うずま川遊会、栃木の例幣使街道を考える会、栃木市

■〈地区の概要〉

当地区は、栃木市の中心市街地に位置し、旧日光例幣使街道および巴波川沿いを中心に、江戸～明治期の蔵や大正時代の洋館などが多数残されており、かつての商都としての栄華が偲ばれる地区である。

「蔵の街とちぎ」として、歴史的・文化的資源を活かしたまちづくりに取り組み、大通りのシンボルロード整備事業による電線類の地中化、巴波川の浄化対策や遊歩道整備等とともに、「町並み修景ガイドライン」に沿って歴史的建造物等の修景を行うなど、市民と行政が一体となって歴史的町並み景観形成が進められている。

整備された大通りや歴史的建造物、巴波川を活用して、多様な市民団体による四季折々の多彩なイベントが開催されており、交流人口の増加や商業の活性化に寄与している。



大通りの景観。シンボルロード整備により電線類の地中化、高質な歩道整備がなされ、すっきりとした景観を形成している。



巴波川沿いの景観。遊歩道が整備され、背後の歴史的建物とともに美しい景観を形成している。

真庭市 勝山町並み保存地区

■所在地：岡山県真庭市

■地区面積：61ha

■応募者：真庭市、町並み保存事業を応援する会

■〈地区の概要〉

当地区は真庭市の勝山地域に位置する。古くから出雲街道が通る交通の要衝として、また高瀬舟を使った舟運の発着場として栄え、さらに江戸時代には城下町を形成した歴史的背景を有している。白壁に格子窓、なまこ壁の集蔵庫といった伝統的な建造物の町並みの他に、高瀬舟の発着場跡、武家屋敷など、数多くの歴史的資産が残されている。

歴史的資産を生かしつつ、まちづくり交付金事業による電線類地中化、散策道的美装化整備、文化交流施設の整備などとともに、建物外観の修理修景助成事業などが実施されている。また、住民団体による多彩なイベント活動、保存地区内の空き家の管理運営、暖簾のまちづくり事業など様々な取り組みが行われており、観光客の増加、住民自らの生活文化の質的向上に寄与している。



伝統的建造物の町並み。



高瀬舟の発着場跡。

2. 美しいまちなみ優秀賞

浦安市 日の出・明海・高洲地区

■所在地：千葉県浦安市

■地区面積：367ha

■応募者：浦安市、千葉県企業庁、独立行政法人都市再生機構千葉地域支社

■〈地区の概要〉

当地区は、東京湾に面した埋め立て地を計画的に開発したもので、時代の変化に適応した街づくりが進められた結果、住宅、大学、業務、大規模商業、都市型ホテル、医療福祉施設等が立地する多機能複合型ニュータウンとなっている。

平坦で茫漠とした埋立地の魅力を高めるため、景観形成ガイドラインが策定され、これに沿って開発が進められ、電線類の地中化、グリーンネットの創出や辻空間の演出、歩行者動線ネットワークの確保、建物配置・眺望への配慮、沿道建物の壁面線の位置の制限などにより、水辺に囲まれ緑溢れる良好な都市景観が形成されている。

人口の定着とともに、まちづくりや景観形成に関心を持つ住民グループなどが組織化されており、景観の維持・形成、コミュニティ形成、地域文化創出といった活動が活発化している。



リゾート都市の演出。椰子類の植栽によりリゾート都市を感じる空間となっている。



高層住宅敷地の一角に確保された辻空間。管理は居住者で構成する管理組合で行っている。

中津川市 中山道馬籠地区

■所在地：岐阜県中津川市

■地区面積：397ha

■応募者：馬籠地域づくり推進協議会、中津川市

■〈地区の概要〉

当地区は、中山道の宿場町の面影を色濃く残す観光拠点の一つであり、山の尾根に沿った「坂の宿場町」としての美しい屋並みや、街道に沿って流れる水路が特徴となっている。明治以降に大火に見舞われたが、建築形式は受け継がれ、住民の保存活動等によって昔と変わらない景観を保持している。

まちづくり交付金を活用し、中山道の一部に落ち葉に埋もれた道をイメージした特殊舗装化、電柱類の裏配線化、及び沿道建物等の修景事業の実施により伝統的な町並み景観を形成している。また住民主体による「風致保存憲章」及び「住民協定」の締結や市景観条例、景観法に基づく景観計画等により、良好な景観の保全につとめている。

整備された街道等を活かして、「ふるさと馬籠ごへー祭り」、「中山道まつり」など多彩なイベントが開催され、町並みの賑わい形成に寄与している。



建物の高さを坂の上の家屋より下の家屋を低くすることで、町並みのバランスを保ち、景観の連続性を生んでいる。



夕刻の馬籠宿。門燈と整備された石畳が街道情緒を引き立てている。

大野市 寺町通り地区

■所在地：福井県大野市

■地区面積：3.1ha

■応募者：大野市、寺町通り地区まちづくり協定運営委員会

■〈地区の概要〉

当地区は、大野市中心市街地（旧城下町）の東端に位置し、多くの寺院が建ち並び、城下町大野の歴史を色濃く残す限界である。各寺院は通りに沿って築地塀や板塀を設けており、塀越しにみえる本堂の大きな瓦屋根や松などの樹木、通り際を流れる水路、石畳などがあいまって、落ち着いたある景観を形成している。

市の街なみ環境整備事業等を契機に、住民が中心となって、地区内の建築物を改修する際のルールとなる「まちづくり協定」を締結し、協定に沿った改修に対して工事費の一部を行政が補助するなど、住民と行政が一体となって景観に対する取り組みを進めている。また、伝統的な景観を活かした多彩なイベントを開催し、まちなかの賑わい創出とまちなか観光客の誘致に貢献している。



石灯籠通り西からの眺め。寺町通りと同様に石畳舗装がなされ、遠藤の寺院との調和を図っている。



寺町通り沿いの生け垣。築地塀や板塀とともに、各寺院の前面に設けられている。

岸和田市 本町地区

■所在地：大阪府岸和田市

■地区面積：4.9ha

■応募者：本町のまちづくりを考える会、岸和田市

■〈地区の概要〉

当地区は、岸和田城の曲輪内にあり、大阪と和歌山を結ぶ紀州街道が地区内を縦断している。また本地区は往時の商業中心であり、紀州街道沿いに本瓦葺、つし2階、出格子、虫籠窓で構成される歴史的まちなみが多く残されている。

こうした歴史的まちなみを保存するため、歴史の道・歴史をめぐる遊歩道整備事業や街なみ環境整備事業を活用し、紀州街道の修景（道路舗装の美装化、電線・電柱の集約美装化等）やポケットパーク、集会施設等の施設整備とともに、家屋修景助成による歴史的建物の修景整備が進められている。また住民団体による賑わい創出のためのイベントの開催や手作業による板塀整備プロジェクトや手作り案内板の設置など様々な活動が行われ、まちの賑わい創出、住民の郷土愛意識の高揚に寄与している。



お城石垣から望む本町地区の街なみ。瓦葺の屋根と塀で構成された景観が見られる。出入り口や窓が殆どなくお城との関係が現れている。



平成9年度市により開設された「まちづくりの館」。集会施設として建築され、まちづくり活動の拠点として活用されている。またトイレやロビーは一般開放されている。

富田林市 富田林寺内町地区

- 所在地：大阪府富田林市
- 地区面積：13.3ha
- 応募者：富田林寺内町をまもり・そだてる会、富田林市

■〈地区の概要〉

当地区は16世紀に宗教自治都市としてつくられ、17世紀以後、幕藩体制の中で宗教色は次第に薄れ、物資の集散と商業活動による在郷町として発達した。現在も創建当時の六筋七町の町割りが残されている。

歴史的まちなみ景観を維持するため、富田林市伝統的建造物群保存条例を制定し、同条例に基づいて建物の外観について修理・修景を図るとともに、街なみ環境整備事業を活用して道路美装化・街路灯整備、生活環境施設の整備など、住民と行政が一体となって取り組まれている。

また市民団体による多彩なイベント開催やボランティアガイドによる街なみ案内など様々な取り組みがなされ、まちの活性化に寄与している。



富田林寺内町（重要伝統的建造物群保存地区）。歴史的町割と連続性をもつ町並みが保存・活用されている。



城之門筋（日本の道100選）。景観に配慮して電柱を移設し、路面の一部に石畳が敷設されている。昭和61年に『日本の道100選』に選定されている。

出水市 出水麓地区

- 所在地：鹿児島県出水市
- 地区面積：43.8ha
- 応募者：出水麓街なみ保存会、出水市

■〈地区の概要〉

当地区は出水市のほぼ中央に位置し、九州新幹線出水駅の南約1kmにあたる。江戸時代初期に形成された地割りを残し、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている（平成7年）。

各武家屋敷では、街路に面して門を開き、主屋や蔵などの附属屋や庭の大樹・屋敷木などが配され、歴史的風致を維持しており、街路からの景観は連担する石垣と生垣により統一感のある景観を形成している。

通りや伝統的建造物が、NHK大河ドラマ「篤姫」のロケ地としても利用され、観光客の立ち寄り数が増加している。



通りの両側に築かれた石垣や生垣。鬱蒼と繁る屋敷木が武家門や武家屋敷とあいまって、落ち着いた雰囲気を出している。



街なみ環境整備事業で整備された、うぐいす谷に通じる通路。

3. 美しいまちなみ特別賞

富山市 総曲輪地区

■所在地：富山県富山市

■地区面積：1.8ha

■応募者：富山市、総曲輪シティ株式会社、西町・総曲輪再開発ビル管理組合

■〈地区の概要〉

当地区は、富山市の中心商店街に位置する。当該中心商店街は、総曲輪通り、中央通り、西町の各商店街を核に広域商業活動の中核的役割を果たしてきたが、商業的地盤沈下が近年顕著に見られた。

そこで空洞化した街に、人を集め、賑わいを取り戻すため、二つの市街地再開発事業（組合）と一体となって、事業区域内における従前道路（廃止）の集約化（公有地）と再開発ビルのセットバック空間（宅地）を組み合わせ、約1,400㎡の広場空間が創出された。広場は透明ガラス張りの全天候型で整備され、天候、季節に関係なく様々な活動が行われており、街なかの賑わい創出拠点となっている。

こうした広場整備と活発な活動によって、地区周辺においては歩行者量が大幅に増加し、まちの賑わいを取り戻しつつある。



賑わいを創出するために、公有地と民有地を合わせて整備された「まちなか広場（グランドプラザ）」の全景。



2つの再開発事業と一体的に整備された全天候型の「まちなか広場（グランドプラザ）」の外観。

浜松市 東地区

■所在地：静岡県浜松市

■地区面積：53.1ha

■応募者：浜松市、東地区街づくり会議

■〈地区の概要〉

当地区はJR浜松駅前位置する浜松市の中心市街地である。整備前は定住人口の減少、商店街も衰退の一途を辿り雑然とした街並みであったが、市による土地区画整理事業の実施により、三つのシンボル道路を中心に、商業業務地、官公庁街区及び住宅地からなる市街地が整備され、地区計画による美しいまちなみを形成している。

地区のシンボル道路であるアクト通り（幅員40m）は、道路中央に幅員18mの歩道、水上回廊、中央広場などが整備されており、この空間を活用して市民協働による多彩なイベント開催や維持管理活動が行われている。こうした魅力ある美しい街並みの整備によって、地区内の歩行者だけでなく定住人口も増加傾向にあり、新しい賑わいの拠点となっている。



アクト通り（東1号線）の北側エリアには水上回廊があり静かなやすらぎ空間となっている。



学園通り（東6号線）車道はインターロッキング、歩道は自然石で舗装され、広幅員の歩道は子どもたちの安全な通学を守っている。

都市景観大賞「美しいまちなみ賞」について

1. 表彰目的

活力ある潤い豊かな美しいまちなみは、国民全体が目指すべきまちづくりの目標であり、地域の大切な資産になるものであると同時に、都市・地域再生の進展や観光交流の発展のために重要な要素となるものです。

都市景観大賞「美しいまちなみ賞」は、美しいまちなみを創り、育てるために、行政と民間が協力し、ハードとソフトの両面を含めた総合的な取り組みが行われている地区を全国から募集し、その中でも特に優れた地区について表彰を行い、広く国民に紹介していくことにより、より良い都市空間の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ①美しいまちなみ大賞（国土交通大臣賞）・概ね1～2地区
- ②美しいまちなみ優秀賞・・・数地区
- ③美しいまちなみ特別賞・・・内容に応じ、適宜選定

3. 対象地区

次の両方の要件を満たす地区とします。

- ① 地方公共団体と住民やNPO、企業等が協力し、街路や公園等の公共空間と建築物等による民有空間を一体とした美しいまちなみが形成されていること。建築物等の規制・誘導、電線類の処理、広告物の整序等が考慮されており、あわせて沿道景観等にも配慮した道路等の公共施設の整備が行われていること等。
- ② まちなみの形成・維持・保全に係わるNPO等のまちづくり組織等*が設立され、適切に管理・運営がなされているとともに、まちなみが十分に活用され、地域の活性化が図られているか、それが期待できること。

*まちづくり組織等とは、地域のまちづくりを継続的に行ってきたり、NPO、まちづくり協議会ほか、商店街振興組合等、形態は問いません。

なお、地区の範囲については、まちなみを対象とした一定の空間的広がりを想定しており、単体の構造物による景観の保全・創出は対象とはなりません。

4. 応募者

応募地区の所在する地方公共団体（都道府県又は市町村又は特別区）と、まちなみの形成・維持・保全に係わるまちづくり組織等とが一体で応募するものとします。また、このほかに、まちづくりにかかる事業の実施主体等の関係団体も共同応募者となることができます。

5. 審査及び表彰

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞「美しいまちなみ賞」審査委員会において、応募図書等をもとに、まちなみの整備や維持・保全活動の新規性、独創性、模範性等のほか、都市・地域再生や観光交流の面でのアピール性等を審査した上で、各賞を選定します。

6. 審査委員会 委員名簿

| | | |
|-----|------|--------------------------|
| 委員長 | 中村良夫 | 東京工業大学 名誉教授 |
| 委員 | 岩淵潤子 | 慶応義塾大学 教授 |
| | 卯月盛夫 | 早稲田大学芸術学校 教授 |
| | 加藤 源 | 都市プランナー |
| | 岸井隆幸 | 日本大学 教授 |
| | 奥水 肇 | 明治大学 教授 |
| | 田中一雄 | 環境・工業デザイナー |
| | 富田泰行 | 照明デザイナー |
| | 富田玲子 | 建築家 |
| | 松葉一清 | 建築評論家 |
| | 小林 昭 | 国土交通省 都市・地域整備局 公園緑地・景観課長 |
| | 松田秀夫 | 国土交通省 都市・地域整備局 市街地整備課長 |
| | 橋本公博 | 国土交通省 住宅局 市街地建築課長 |

(順不同、敬称略、平成21年6月現在)

■主催:「都市景観の日」実行委員会

(財)都市計画協会、(社)日本公園緑地協会、(独)都市再生機構、(財)民間都市開発推進機構、(社)日本都市計画学会、(財)都市みらい推進機構、(社)街づくり区画整理協会、(社)全日本屋外広告業団体連合会、(財)都市緑化基金、(財)都市づくりパブリックデザインセンター、全国景観会議、都市景観形成推進協議会、歴史的景観都市連絡協議会、全国街路事業促進協議会

■後援:国土交通省

■協賛団体:

(財)都市文化振興財団、(財)計量計画研究所、(財)区画整理促進機構、(社)日本交通計画協会、(社)再開発コーディネーター協会、(財)日本造園修景協会、(社)日本造園建設業協会、(財)公園緑地管理財団、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(社)日本下水道協会、(財)自転車駐車場整備センター、(社)立体駐車場工業会、全国土地区画整理事業推進協議会、都市再開発促進協議会

■事務局:(財)都市づくりパブリックデザインセンター

〒102-0084 東京都千代田区二番町 12-12 TEL 03-3222-0981 URL <http://www.udc.or.jp>